

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしやぶりまぐえーら 有限会社プリマヴェーラ	団体ウェブサイトURL https://www.lastradacompany.net/
代表者職・氏名	代表取締役・兵藤禎晃	
制作団体所在地	〒453-0801 最寄り駅(バス停) 名古屋駅 愛知県名古屋市中村区太閤1-7-20	
電話番号	090-7679-4366	
ふりがな 公演団体名	らすとらーだかんぱにー ラストラダカンパニー	団体ウェブサイトURL https://www.lastradacompany.net/
代表者職・氏名	代表・Chang	
公演団体所在地	〒453-0057 最寄り駅(バス停) バス停:稲葉地町 愛知県名古屋市中村区稲葉地本通3-13 NDO403号	
制作団体 設立年月	平成16年 12月	
制作団体組織	役職員 代表取締役 兵藤洋子 代表取締役 兵藤禎晃 取締役 兵藤愛子	団体構成員及び加入条件等 役員3名
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名 兵藤禎晃
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 兵藤愛子

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

ラストラーダカンパニー

】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	「らふいゆれふいゆ」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【厚生労働省社会保障審議会児童福祉文化財】 【国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラム選出作品】 演出/LONTO 音楽/シモシュ 照明/御原祥子 【プログラム構成】 1.ワークショップ発表 2.本編上演 (休憩) 3.バックステージ説明 4.感想・質問コーナー ※団体、学校双方の都合がつけば生徒と間近で触れ合えるお見送りも可能 公演時間 90 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	言葉を使わない道化師と、言葉をもたない音楽家、そんな両者が出会い、噛み合わないながらも少しづつ距離を縮めていく。そんな3人のおかしな物語。生演奏やパントマイムを交えながら、時に観客も巻き込みながら物語は進行します。落ち葉の中で繰り広げる楽しくも美しい言葉のない舞台です。 ピアノ、バイオリン、アコーディオン、フルート、トライアングルと様々な楽器も登場します。		
演目選択理由	登場人物たちは言葉を使いません、パントマイムや音楽などそれぞれの特性を活かしてコミュニケーションをとっていきます。言葉を使わないことで、登場人物たちが何を思い、何に困っているのか、じっくり考えることができます。相手のことを考え想像するということは思いやりに繋がります。言葉は話すだけではありません。心の中にもたくさん言葉があります。話せない言葉、言葉にして伝える事が難しい事もあります。でも心の声を見て聞くことが出来たならば小さなSOSにも気づけるかもしれません。近年SNSやメール等文字で情報を得ることが急激に増え、それらは時に便利で、より早く多くの情報を得ることができます。でも情報とは別に、自分で考える力、発想力、想像力、そして自分が今、何を感じているかが重要だと考えています。		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	1.冒頭のシーンにて、旅芸人が登場、それに合わせて同じく旅芸人に扮した代表の児童、生徒(15名程度)が舞台前にてパントマイムやジャグリングなどワークショップで学んだ技術を使い発表していきます。観客ともコミュニケーションをとりながら全体でシーンを作っていきます。賑やかなパフォーマンスのシーンから始まり、本編が始まっていきます。 2.出演の児童には本番までに簡単な蝶ネクタイや帽子など、パフォーマーに扮した格好、アイテムを作成してもらいます。もちろん先生の参加も可能です。学校の要望を聞き取り、柔軟に対応致します。		
出演者	シモシュ(x-jam):音楽家 Chang(ラストラーダカンパニー):道化師 LONTO(ラストラーダカンパニー):道化師 計 3名		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 3 名 スタッフ: 3 名 合 計: 6 名	運搬	積載量: ワゴン t 車 長: 5 m 台 数: 2 台

制作団体沿革	【有限会社プリマヴェーラ】 ・平成16年 兵藤洋子が有限会社プリマヴェーラ設立。 ・平成30年 兵藤禎晃 (Chang)、兵藤愛子 (LONTO)が有限会社プリマヴェーラに入社、舞台芸術部門「ラストラーダカンパニー」を社内で立ち上げ、道化師として活動を継続。 ・平成30年 LONTO演出、Chang, LONTO出演の「サーカスの灯」が厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財に認定。同年LONTO演出、Chang, LONTO出演の「コメディ・クラウン・サーカス」が児童福祉文化賞を受賞。 ・令和2年 国際児童青少年舞台芸術協会assitej世界大会において「サーカスの灯」が国内5作品に選出され上演。 ・令和3年 Changが名古屋市文化振興事業団より、第37回芸術創造賞を受賞。同年、文化芸術復興創造基金助成を受けてコロナ禍においても活動を継続。文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」において「サーカスの灯」がプログラム選択型に選定され、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、千葉県、和歌山県、鹿児島県の小学校で上演。 ・令和4年 LONTO演出、Chang, LONTO出演の「らふいゆれふいゆ」が国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラムをして上演される。同年LONTO演出、Chang, LONTO出演の「らふいゆれふいゆ」が厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財に認定。文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」において「サーカスの灯」がプログラム選択型に選定され、青森県の小学校で上演。		
学校等における公演実績	令和元年より学校公演実績あり 累計 32公演 (直近) 令和3年度「らぐずたいむ」 みんなで育む子どもの未来フェスティバルにて上演 令和3年度「サーカスの灯」ほか 全国29公演(子ども劇場おやこ劇場) 令和3年度「らふいゆれふいゆ」 愛知県岐阜県三重県7公演(2021ジョイントフェスティバル) 令和4年度「サーカスの灯」 岩手県内宮古市内13校の小学校、約1,000名が観劇(劇場芸術体験事業) 令和4年度「サーカスの灯」 愛知県知立市内小中学校3箇所上演(こどもアートふれあい事業)		
特別支援学校等における公演実績	・2021年「サーカスの灯」京都市立北総合支援学校 ・平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業事業」鹿児島県豊学校 (Chang個人)		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/ZrtYT6XGf9o	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容			【公演団体名		ラストラーダカンパニー		】	
対象	小学生(低学年)		○					
	小学生(中学年)		○					
	小学生(高学年)		○					
	中学生		○					
企画名		「らふいゆれふいゆ」						
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付		【厚生労働省社会保障審議会児童福祉文化財】 【国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラム選出作品】 演出/LONTO 音楽/シモシュ 照明/御原祥子 【プログラム構成】 1.ワークショップ発表 2.本編上演 (休憩) 3.バックステージ説明 4.感想・質問コーナー ※団体、学校双方の都合がつけば生徒と間近で触れ合えるお見送りも可能 公演時間 90 分						
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名			
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況			
演目概要		言葉を使わない道化師と、言葉をもたない音楽家、そんな両者が出会い、噛み合わないながらも少しずつ距離を縮めていく。そんな3人のおかしな物語。生演奏やパントマイムを交えながら、時に観客も巻き込みながら物語は進行します。 落ち葉の中で練り広げる楽しくも美しい言葉のない舞台です。 ピアノ、バイオリン、アコーディオン、フルート、トライアングルと様々な楽器も登場します。						
演目選択理由		登場人物たちは言葉を使いません、パントマイムや音楽などそれぞれの特性を活かしてコミュニケーションをとっていきます。言葉を使わないことで、登場人物たちが何を思い、何に困っているのか、じっくり考えることができます。相手のことを考え想像するという事は思いやりに繋がります。言葉は話すだけではなく。心の中にもたくさん言葉があります。話せない言葉、言葉にして伝える事が難しい事もあります。でも心の声を見て聞くことが出来たならば小さなSOSにも気づけるかもしれません。近年SNSやメール等文字で情報を得ることが急激に増え、それらは時に便利で、より早く多くの情報を得ることができます。でも情報とは別に、自分で考える力、発想力、想像力、そして自分が今、何を感じているかが重要だと考えています。						
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態		1.冒頭のシーンにて、旅芸人が登場、それに合わせて同じく旅芸人に扮した代表の児童、生徒(15名程度)が舞台前にてパントマイムやジャグリングなどワークショップで学んだ技術を使い発表していきます。観客ともコミュニケーションをとりながら全体でシーンを作っていきます。賑やかなパフォーマンスのシーンから始まり、本編が始まっていきます。 2.出演の児童には本番までに簡単な蝶ネクタイや帽子など、パフォーマーに扮した格好、アイテムを作成してもらいます。もちろん先生の参加も可能です。学校の要望を聞き取り、柔軟に対応致します。						
出演者		シモシュ(x-jam):音楽家 Chang(ラストラーダカンパニー):道化師 LONTO(ラストラーダカンパニー):道化師 計 3名						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む		出演者: 3 名 スタッフ: 3 名 合 計: 6 名		運搬		積載量: ワゴン t 車 長: 5 m 台 数: 2 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時		13時～14時30分	10分	14時30分～ 15時30分	16時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	0日	0日	0日	15日	5日		
	11月	12月	1月	計	55日		
	5日	15日	15日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		15名(舞台上で演技発表する児童)		
			鑑賞人数目安		300名		
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真) 							

【公演団体名 ラストラーダカンパニー】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	300名
ワークショップ 実施形態及び内容	標準 90分 ①アイスブレイキング＜15分＞ まずは子どもたちと講師との距離を縮め緊張感をほぐすために音楽を使いながらウォーミングアップをしていきます。使用する音楽も舞台に馴染んでいただくため、劇中曲を使用します。 ②コミュニケーション＜15分＞ ゲームを通して身体を使ったり、言葉を使わなかったり様々なコミュニケーションをとっていきます。 (休憩) ③デモンストレーション＜10分＞ パントマイムのショーを鑑賞。実際に言葉を使わないで、観客とどのようにコミュニケーションをとっていくのかにも注目です。 ④テクニック練習＜20分＞ 実際に身体を使ってパントマイムのテクニックを学びます。テクニックの他にもリアクションなど感情表現など、観客への伝え方、見せ方についての表現方法も学びます。 ⑤実践＜20分＞ 学んだテクニックを実際発表したりお互い観たりします。また本編への参加の仕方など。 ※参加人数が40名程であればジャグリングのワークショップも可能です。 (ジャグリングワークショップの場合、道具が必要の為)応相談。		
ワークショップの ねらい	【見る力】【読み取る力】 携帯やタブレットを見ることの多い中、外を向き周りを観ることも大切です。誰かが何かを伝えようとしていても、下を見ていたら気づくことができない。パントマイムを通して表情や身体表現から、まずは相手を観察し、どんな所に読み取るヒントが隠されているかなどについても考えます 【伝える力】 日本人は感情表現などのリアクションを外に出すことが苦手だと言われています。もちろん、笑う、拍手をする、返事をする、驚く、声を掛ける…などリアクションにも様々なものがあります。ワークショップでは感じたことを外に出す、ということにも注目していきます。 【個々の力】舞台本編ではジャンルも表現方法も違う音楽家と道化師が出会いコミュニケーションをとっていきます。また、舞台上の落ち葉は全て色が違います、そこには「自分にしか出せない色」それぞれの個性を活かし「自分らしく生きる」という意味が込められています。ワークショップを通し、個々の表現を伸ばすとともに、子ども達同士もそれぞれの表現を楽しみ、興味を持ってもらうことも目的の一つです。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	動きやすい服装、体育館シューズでの参加をお願いします。 タオル、水筒など、必要であれば持参ください。 学校の要望にも柔軟に対応し、児童・生徒のやってみたいことなど、声を聞き、より興味を持って参加できるような体験機会を創出します。		